

# 平成30年度事業報告書

平成30年 4月 1日から 平成31年 3月31日まで

特定非営利活動法人だっぴ

## 1 事業実施の成果

別紙のとおり

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (円)
若者の人材育成と社会、働き方、生き方を考えるための交流会事業	中学生・大学生・地域の大人の多世代交流事業	年20回	各中学校・高校	3名	1,938名	5,622,835
進路や働き方に悩む若者が自分らしい一歩を踏み出すための企画・実施事業	大学生と地域の大人の交流事業	5月19日 9月17日 1月20日	きらめきプラザ 美作大学 IPU・環太平洋大学	2名	207名	210,262
活動内容を広く知らせ、啓蒙するための啓発事業	講演・研修等	通年	依頼のあった事業所	1名		3,407,790
その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	災害支援事業	10月17日 11月18日	矢掛高校 真備公民館	2名	180名	1,124,200

### (2) その他の事業

なし

## 各事業の運営に関して

### 1. 中学生・高校生だっぴ

中高生×大学生(世代)×大人の三者がフラットな関係での対話を通して、お互いの価値観などを共有することで、中高生の未来への期待や自分への自信をつくる。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中高生が自分と違う意見を認め、自己表現することへの自信をもつ</li> <li>● 中高生の地域や社会への当事者意識を高める</li> <li>● 中高生が大人に対するイメージを再構築し、未来への希望をもつ</li> <li>● 大学生が地域参画の機会を通して、成長する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中高生の自己肯定感や自己効力感を高めることに貢献できた。</li> <li>● 中高生の大人に対するイメージを再構築し、将来への期待を向上することができた。</li> <li>● 中高生や大学生の地域社会に対する当事者意識を高めることができた。</li> <li>● 公募開催枠の設置により、地域の中で多世代交流の機会を継続することができた。</li> </ul>

#### 実績

#### 実施校・参加者一覧

実施日	名称	会場	参加者数			
			中学生	高校生	キャスト	大人
6/22	岡山県立津山東高校生だっぴ	津山東高校		76	23	34
8/11	備前市中学生だっぴ	リフレセンターびぜん	22	1	16	16
8/31	備前市立日生中学生だっぴ	日生防災センター	57		24	29
9/20	備前市立伊里中学生だっぴ	伊里中学校	34		18	19
9/22	笠岡市立新吉中学生だっぴ	新吉中学校	92		22	35
10/20	和気町立佐伯中学生だっぴ	佐伯中学校	51	17	15	26
11/10	高梁市中学生だっぴ	高梁総合文化会館	21	6	14	14
11/17	岡山県立津山中学生だっぴ	津山中学校	76		13	35
11/22	津山市立鶴山中学生だっぴ	鶴山中学校	61		35	32
11/28	岡山市立建部中学生だっぴ	建部中学校	39		6	20
12/8	玉野市立荘内中学生だっぴ	荘内中学校	79		26	40
1/12	早島町立早島中学生だっぴ	早島中学校	93		45	50
1/19	岡山市立岡山中央中学生だっぴ	岡山中央中学校	134		81	79
2/12	津山市立勝北中学生だっぴ	勝北中学校	55		21	28
2/17	西栗倉村中学生だっぴ	西栗倉小学校	17		15	10
3/3	吉備中央町中学生だっぴ	農業振興センター	11		12	11
3/5	津山市立久米中学生だっぴ	久米中学校	52		18	35
3/17	和気町リーダーだっぴ	和気岡谷高校	22		5	
	計		916	100	409	513

#### 課題・展望

多世代交流の中で、中学生が自分の意見や価値観を表現し、それが受け入れられることで、中学生の自己肯定感・自己効力感を高めることができています。地域の大人や大学生との対話が、中学生の社会観・キャリア観形成につながり、将来への期待や地域社会への愛着・当事者意識も培われている。また、地域の大人や大学生にとっても、異年齢の存在から学び合う機会となっている。こうした多世代交流の機会を地域で継続していけるかたちを模索すべく、それぞれの地域へのノウハウ移転や資金調達などの課題をクリアしていきたい。

## 2. だっぴ50×50

これからの担う若者と様々な世界で活躍する大人の交流機会をつくることで、学生が多様な生き方や働き方を学ぶ。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若者が地域の大人と出会うことで、広い視野で主体的に進路選択できるようになることを目指す。</li> <li>● 地域の様々な課題に対しても主体的に取り組み、解決する若者を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実行委員として参画した大学生の主体性や行動力を育むことができた。</li> <li>● 岡山の様々な大人と大学生をつなぐことで、新たな関係性の構築や大学生の次に一步を支援することができた。</li> </ul>

### 実績

#### 実施イベント・参加者一覧

実施日	イベント名	開催場所	参加者数		
			大学生	大人	キャスト
5/19	だっぴ30×30	きらめきプラザ	30	30	
9/17	だっぴ20×20in美作大学	美作大学	15	15	
1/20	だっぴ50×50	IPU・環太平洋大学 グローバルキャンパス	37	46	34
計			82	91	34



### 課題・展望

企画運営において大学生がより主体性をもてるような「自分たちで考えて行動する」環境をつくるかたちで実施したことによって、学生の成長スピードは速くなり、能動的な姿勢を培うことができた。また、多くの若者と地域の大人をつなぐイベントとして認知もより高まってきており、参加者にも大きなインパクトを与えることができた。IPU・環太平洋大学や美作大学の協力も得られるかたちで実施できており、大学連携も進んだ。

収益事業としての可能性は薄いですが、組織のDNAに関わる活動であることは確かなので、大学生主体（スタッフ伴走）のかたちで継続していく。

### 3. テーマだっぴ

テーマを絞った「若者×大人」の交流機会。教育の道を志す学生と教育に関する様々な世界で活躍する大人が、多様な教育観を学び合う「教育×だっぴ」や、岡山の企業人と“働く”について考えることを通して、学生が自分の働き方について視野を広げて考える「働く×だっぴ」を実施。

目標	成果
(教育×だっぴ) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育の道を志す学生が教育の世界の選択肢をより多く得る。</li> <li>● 教育への関わり方の選択肢を吟味することを通して、自分の教育観と向き合い、教育へ関わる熱量を高める。</li> </ul> (働く×だっぴ) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生が自分の働き方について考え、働くイメージをより鮮明にすることができる。</li> <li>● 多様な働き方に出会うことで、学生が自分の視野を広げることができる。</li> </ul>	(教育×だっぴ) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加した学生が様々な教育の働き方を知る機会になった。</li> <li>● 参加者が多様な教育観を理解し、自分なりの教育の軸を見つけようとするきっかけの場にすることができた。</li> </ul> (働く×だっぴ) <ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加した学生が、自分の働くイメージをより鮮明に持つことができた。</li> <li>● 参加した学生の岡山の企業への興味関心を高めることができた。</li> </ul>

#### 実績

#### 実施イベント・参加者一覧

教育×だっぴ						
実施日	イベント名	開催場所	参加者数			
			中学生	大学生	ゲスト数	キャスト
10/8	教育×だっぴin岡山大学	岡山大学	1	26	21	7
働く×だっぴ						
開催日	イベント名	開催場所	参加者数			
			高校生	大学生	ゲスト数	キャスト
9/28	働く×だっぴ-岡山の魅力的な企業編- withベクトル大学	ベクトル大学		28	26	



#### 課題・展望

教育×だっぴは岡山大学教育学部と、働く×だっぴはベクトル大学と連携して実施した。教育×だっぴでは、教員養成課程において、多様な教育者との対話は教師教育開発の可能性を感じることができた。働く×だっぴでは、企業人との対話が、学生の“前向きな社会化”を促していることを感じられた。どちらの機会も、大学生・大人ともに参加者層をより多様にしていきたい。

#### 4. ぶちだっぴ

だっぴを通して、「もっとこんな大人に会ってみたい!」という思いをもった大学生が、自分たちの場を自分たちでつくる。また、だっぴの活動に興味のある人たちがお試的に参加できる機会。

月1~2回のペースで、合計16回実施した。

#### 5. “環境的ハンデの若者が、おとなと交流しながら自らの未来に可能性を感じることの出来る機

##### 会を創出する”モデルプログラム検証事業

だっぴの対話プログラムを活用し、環境的ハンデを抱える若者にセグメントしたプログラムを開発する。岡山県内のさまざまな環境的ハンデを抱える若者を支援する諸団体へヒアリング・意見交換を行い、各団体の協力の元、プログラムの作成と効果検証を行った。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定時制、通信制の高校に通う高校生や、社会福祉施設等に通う子どもたちが自己肯定感を高め、自ら主体的に、生き方や働き方を選択できている社会、状態を作ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象となる若者に関係する者同士の交流機会をつくり、お互いに情報交換ができた。</li> <li>● 対象となる若者の、自尊感情の向上や将来に対する前向きな気持ちをつくることができた。</li> </ul>

##### 実績

##### 実施イベント・参加者一覧

開催日	イベント名	会場	中学生	高校生	大人
7/27	ハードルを抱えた若者の交流プログラムを考える座談会	SGSG			19
11/2	ぶちだっぴ 生きづらいついていてもいいですか?	だっぴ事務所			7
2/16	あかねだっぴ	フリースペースあかね	9		3
2/20	定時制高校でのプログラム検証	岡山県内定時制高校		17	8

##### 助成

公益財団法人みんなでつくる財団おかやま みんつく冠基金事業

平成30年度社会教育館関係団体による地域パワーアップ事業(岡山県生涯学習課)

##### 協力団体

特定非営利活動法人あかね、Free Design 株式会社、学校法人おかやま希望学園、認定 NPO 法人シェルターモモ、認定 NPO 法人 D×P、志塾フリースクール、岡山に夜間中学をつくる会、認定特定非営利活動法人ポケットサポート、一般社団法人 SGSG、山村エンタープライズ (順不同)

課題・展望

事業にチャレンジするにあたり、同様に生きづらさを抱えながらもこれまで参加者やボランティアとして関わり、同じような人のサポートをしたいと願ってきた若者を選任アルバイトとして一緒に事業に取り組んだ。結果として、現場の声に沿ったモデルプログラムを作ることができた。団体内にもノウハウとして残すことができた。このモデルを今後どう活用していくか、具体的な部分は引き続き協議を重ねていき、当法人以外の団体で活用可能なかたちを目指す。

## 6. 教員研修

「学校教員×地域人材×大学院生」の対話プログラム。岡山後楽館高校の教員研修の名目で、岡山大学教職大学院と連携し、独立行政法人教職員支援機構の「NITS カフェ」事業として実施。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校教員が福祉や社会教育、キャリアなどの専門性をもつ地域の人材とつながり、その生徒への教育力や指導力、理解力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校教員と地域人材とのつながりをつくることできた。</li> <li>● 教員同士のコミュニケーション活性化によって、モチベーション向上やリフレッシュにつながった。</li> </ul>

実績

日時：平成30年8月28日 9:30~12:00

場所：岡山市立岡山後楽館高校

参加者：教員17名

地域人材7名（「福祉」3名「社会教育」2名「キャリア形成」2名）

学生12名（岡山大学教職大学院）



課題・展望

「学校教員×地域人材×大学院生」の対話の機会が、学校教員にある程度の好影響を及ぼすことは分かった。しかし、プログラムの細かい部分の修正は必要であると感じた。単発的なものではなく、その後の広がりも設計していきたい。今後、社会に開かれた教育課程が求められていく中で、こうした教員研修のニーズは高まってくると考えられるため、プログラム開発を引き続き行っていく。

## 7. 中学生・高校生だっぴサミット

中学生・高校生だっぴを実施した学校・地域の実施関係者やこれから中学生・高校生だっぴを実施したいと考えている方、興味関心のある方々でセミクローズ的に実施。各地域のだっぴの事例共有や多世代交流の今後について議論し、各地域でだっぴが進化していく契機となることを目指した。また、NPO 法人ハンズオン埼玉の理事・西川正氏を講師として招聘し、場づくりで大切にすべきことについても学んだ。

日時：2019年3月16日 13:00~16:30

参加者：44名



## 8. ファシリテーション勉強会

新潟県より NPO 法人みらいず works の代表理事・小見まいこ氏をお招きし、教育ファシリテーションについて勉強する機会を公開講座として実施。教育関係者が中心に参加し、ファシリテーションが学校教育に浸透している新潟県の事例などを踏まえて、教育ファシリテーションの考え方とスキルを学んだ。

日時：2019年2月24日 10:00~17:00

参加者：30名



## 9. 災害支援（情報支援）

災害支援ネットワーク岡山（岡山 NPO センター・岡山県社会福祉協議会）が運営する災害支援ポータルサイト「うったて」の子ども関連情報ページの事務局を担当。被災した子どもに関する支援活動やイベント情報の収集・発信を行った。また、（場合によっては）支援プロジェクトの伴走支援やサポートにも参画した。

## 10. 災害支援（場づくり支援）

西日本豪雨災害の支援として、被災した中高生と大人の対話の機会をつくり、中高生のモチベーションアップを図った。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中高生、大学生を対象に地域の大人との安心安全な交流を実現するプログラム「だっぴプログラム」を通じた被災地の中高生のサポートを行う。被災した中高生が地域の多様な大人と対話する機会を設け、その中で“参加した生徒のみんなが、魅力的な大人と出会い、交流し、楽しい時間を過ごしながら、気持ちが楽になったり、元気な力が湧いてくる”そんなきっかけを作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校と連携して開催したことで、多くの被災した生徒に機会を届けることができた。</li> <li>● 被災した中高生にとって、この場での大人との対話が“これからの活力”になった。</li> <li>● 参加した真備中学校の中学生は、自分達以外の友達にもこのような機会が必要で届けたいと学校に機会を作ってもらえるように提案する準備をしている。</li> </ul>

### 実績

#### 実施イベント・参加者一覧

実施日	イベント名	開催場所	参加者数			
			中学生	高校生	ゲスト数	キャスト
10/17	矢掛高校生だっぴ	矢掛高校		78	53	8
11/18	中生だっぴ@真備公民館	真備公民館	24		4	13

公益社団法人 Civic Force 「NPO パートナーシップ協力プログラム」の委託で実施



### 課題・展望

災害支援は長期戦になることが予想される。学校や教育委員会と連携して、支援事業を実施できた。今後は、地元の中学校や子ども達の支援を行っている団体と情報交換を行いつつ、今回のような機会の必要性について確認していきたい。その上で、矢掛高校で実施した結果も含め地域の他の学校に報告し、このような機会の必要性を認識してもらおうと共に次の機会創出や継続的な地域の関わりを模索していきたい。



# 活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

特定非営利活動法人だっぴ

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	60,000	
賛助会員受取会費	567,378	627,378

【受取寄付金】

受取寄付金		1,596,055
-------	--	-----------

【受取助成金等】

受取助成金		2,924,000
-------	--	-----------

【事業収益】

自主事業収益	3,250,111	
受託事業収益	9,747,510	12,997,621

【その他収益】

受取 利息	34	
雑 収 益	6,252	6,286

経常収益 計

18,151,340

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	4,398,880	
法定福利費(事業)	679,048	
人件費計	5,077,928	

(その他経費)

業務委託費(事業)	1,371,203	
諸 謝 金(事業)	574,883	
印刷製本費(事業)	522,611	
会 議 費(事業)	5,506	
旅費交通費(事業)	791,885	
通信運搬費(事業)	40,516	
消耗品 費(事業)	44,756	
賃 借 料(事業)	34,920	
広告宣伝費(事業)	1,747,458	
租税 公課(事業)	24,200	
研 修 費(事業)	29,200	
支払手数料(事業)	6,509	
支払寄付金(事業)	30,000	
雑 費(事業)	63,912	
その他経費計	5,287,559	

事業費 計

10,365,487

【管理費】

(人件費)

給料 手当	549,231	
法定福利費	100,745	
人件費計	649,976	

(その他経費)

諸謝金	20,000	
会 議 費	1,617	
旅費交通費	88,465	
通信運搬費	137,671	
消耗品 費	174,209	
修 繕 費	23,760	
賃 借 料	373,340	
新聞図書費	5,644	
諸 会 費	7,000	
租税 公課	29,850	
支払手数料	3,964	

# 活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人だっぴ

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

雑費	21,295	
その他経費計	886,815	
管理費計		1,536,791
経常費用計		11,902,278
当期経常増減額		6,249,062
税引前当期正味財産増減額		6,249,062
当期正味財産増減額		6,249,062
前期繰越正味財産額		4,487,942
次期繰越正味財産額		10,737,004

# 貸借対照表

特定非営利活動法人だっぴ  
全事業所

【税込】(単位:円)  
平成31年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	139,397		
普通預金	12,276,314		
ゆうちょ普通	(3,262,324)		
ゆうちょ振替	(1,125,918)		
ゆうちょ5050	(4,785)		
ろうきん	(957,560)		
中国銀行	(6,925,727)		
現金・預金計	12,415,711		
(売上債権)			
未収金	1,136,120		
売上債権計	1,136,120		
流動資産合計		13,551,831	
資産合計			13,551,831
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	2,661,376		
預り金	153,019		
住民税	(211,700)		
社会保険	(△ 106,831)		
市民税	(△ 148,100)		
所得税	(26,063)		
源泉徴収税	(△ 2,427)		
その他補助	(172,614)		
流動負債合計	2,814,395		
負債合計			2,814,395
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		4,487,942	
当期正味財産増減額		6,249,062	
正味財産合計		10,737,004	
負債及び正味財産合計			13,551,399

## 財務諸表の注記

特定非営利活動法人だっぴ

平成31年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業費の内訳】

科 目	(1) 若者の人材育成と社会、働き方、生き方を考えるための交流会事業	(2) 進路や働き方に悩む若者が自分らしい一歩を踏み出すための企画・実施事業	(3) 活動を広く知らしめ、啓蒙するための啓発事業	(4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	合 計
【人件費】					
給料 手当(事業)	4,100,000	0	0	298,880	4,398,880
法定福利費(事業)	679,048	0	0	0	679,048
人件費 計	4,779,048	0	0	298,880	5,077,928
【その他経費】					
業務委託費(事業)	199,584	0	1,171,619	0	1,371,203
諸 謝 金(事業)	38,711	130,000	252,604	153,568	574,883
印刷製本費(事業)	165,590	710	40,554	315,757	522,611
会 議 費(事業)	800	500	1,056	3,150	5,506
旅費交通費(事業)	320,124	70,370	138,523	262,868	791,885
通信運搬費(事業)	3,544	2,160	2,395	32,417	40,516
消耗品 費(事業)	29,440	6,090	7,277	1,949	44,756
賃 借 料(事業)	18,180	0	10,140	6,600	34,920
広告宣伝費(事業)	0	0	1,713,098	34,360	1,747,458
租税 公課(事業)	0	0	24,000	200	24,200
研 修 費(事業)	16,200	0	0	13,000	29,200
支払手数料(事業)	2,260	432	1,966	1,851	6,509
支払寄付金(事業)	0	0	30,000	0	30,000
雑 費(事業)	49,354	0	14,558	0	63,912
その他経費 計	843,787	210,262	3,407,790	825,720	5,287,559
合 計	5,622,835	210,262	3,407,790	1,124,600	10,365,487

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は10,724,806円ですが、そのうち2,450,000円はだっぴ事業と普及啓発事業、被災地支援事業だけに使用するよう制約されています。したがって、使途が制約されていない正味財産は8,274,806円です。

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
福祉人材育成基金助成金	0	500,000	500,000	0	進路や働き方に悩む若者が自分らしい一歩を踏み出すための企画・実施事業の助成金
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金	0	50,000	50,000	0	〃
教育文化事業助成金	0	100,000	100,000	0	活動を広く知らしめ、啓蒙するための啓発事業の助成金
教育文化事業助成金	0	300,000	300,000	0	〃
被災地支援事業助成金	0	1,500,000	1,500,000	0	その他、本法人の目的を達成するために必要な事業の助成金

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人だっぴ  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
平成31年 3月31日 現在

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	139,397
普通 預金	12,276,314
ゆうちょ普通	(3,262,324)
ゆうちょ振替	(1,125,918)
ゆうちょ5050	(4,785)
ろうきん	(957,560)
中国銀行	(6,925,727)
現金・預金 計	12,415,711

(売上債権)

未 収 金	1,136,120
売上債権 計	1,136,120

流動資産合計

13,551,831

資産合計

13,551,831

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	2,661,376
預 り 金	153,019
住民税	(211,700)
社会保険	(△ 106,831)
市民税	(△ 148,100)
所得税	(26,063)
源泉徴収税	(△ 2,427)
その他補助	(172,614)
流動負債合計	2,814,395

流動負債合計

2,814,395

負債合計

2,814,395

正味財産

10,737,004

前事業年度の年間役員名簿

(平成30年4月1日から平成31年3月31日)

特定非営利活動法人だっぴ

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬の有無
1	代表 理事	かしはらたくし 柏原拓史	[Redacted]	自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
2	副代表 理事	ふじいひろや 藤井裕也		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
3	理 事	みやけまさふみ 三宅真史		自 平成30年4月1日 至 平成30年10月17日	報酬なし
4	理 事	なかまつかこ 中前貴子		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
5	理 事	むらなかゆき 室貴由輝		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
6	理 事	かわはらあさな 河原彩花		自 平成30年4月1日 至 平成30年10月17日	報酬なし
7	理 事	もりわけしげく 森分志学		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし
8	監 事	みやまさいいち 宮崎栄一		自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日	報酬なし